

保護者のみなさんを  
応援します！



## 仙台市PTA指導者研修会



# オンラインで学びませんか？

不登校児童生徒が増加している現状を踏まえ、今年度は不登校支援をテーマとした研修を行います。不登校の子どもやその親の気持ちに寄り添った支援のあり方について、いっしょに考えてみませんか。

オンライン研修ですので、ご自宅や職場でも受講可能です。お気軽にご参加ください。

先着150名



日 時 令和5年6月7日(水) 10:15~11:45  
(オンライン入室可能時間 10:00~)



講 話 「(仮)今、改めて不登校を考える  
—子どもの気持ち、親の気持ちとその支援—」



講 師 奈良女子大学大学院生活環境科学系・教授/臨床心理相談センター長  
伊藤 美奈子 氏



申込方法 右の二次元コードを読み取り、電子申請システムに必要事項をご記入の上、お申し込みください。  
※二次元コードを読み取れない場合は直接、生涯学習課にお問い合わせください。(214-8887 担当加藤まで)



申込期間 令和5年5月17日(水)~6月2日(金)

## 講師のご紹介

奈良女子大学大学院生活環境科学系・教授  
臨床心理相談センター長 伊藤 美奈子 氏



京都大学文学部国文科卒業後、大阪の東大谷高等学校に国語科教諭として着任。在職中に大阪教育大学大学院教育学研究科(学校教育学専攻)修士課程修了。1990年、京都大学大学院教育学研究科(臨床教育学専攻)修士課程入学に伴い、上記高校を退職。1995年、同博士後期課程学修認定。1996年5月、博士(教育学)取得。1995年より2年間、南山大学文学部専任講師を経て、1997年4月よりお茶の水女子大学大学院人間文化研究科・助教授。2003年4月、慶應義塾大学教職課程センター助教授、同教授を経て、2013年4月より現職。

2015年から2019年まで文部科学省「不登校に関する調査研究協力者委員」、2021年から現在まで内閣官房「孤独・孤立の実態把握に関する研究会」構成員、総務省「不登校・ひきこもりの子供支援に関する政策評価に係る研究会」委員等、国や自治体が主催する委員会委員を歴任されている。

『不登校 その心もようと支援の実際』金子書房(2009年)や、『不登校の理解と支援のためのハンドブック』ミネルヴァ書房(編著)(2022年)など、数多くの著書がある。

主 催 仙台市教育委員会・仙台市PTA協議会

## オンラインで学ぶ「仙台市PTA指導者研修会」をおススメします！

### 不登校支援について一緒に考えましょう

仙台市教育委員会 教育長 福田 洋之

PTAの皆様をはじめ、地域の皆様におかれましては、日頃から学校・家庭・地域と連携し、子どもたちの教育環境の向上に熱心に取り組まれておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、本研修会は仙台市PTA協議会と教育委員会との共催により、PTA活動や地域活動に関わる方が、教育をめぐる現代的課題について気付きと解決に向けたヒントを得られるようにと開催しているものでございます。本年度は、全国的に不登校児童生徒数が増加傾向にある現状を踏まえて、不登校の子どもとその保護者への支援について、奈良女子大学 教授 伊藤 美奈子 先生からご講話をいただきます。

伊藤先生は不登校支援に関する国や自治体の委員を歴任されており、著書も数多く執筆されております。本市教育委員会が主催する研修会においてもご講話をいただいております。受講者からは、「伊藤先生のお話から不登校の子どもたちの心を知ることができた。」「伊藤先生の穏やかなお話しぶりに励まされ、癒された。」といった感想が多く寄せられております。

不登校の子どもたちの心を理解するとともに、どのように支援したらよいのかについて一緒に考える機会にさせていただけると幸いです。どうぞお気軽にご参加ください。



### オンライン研修にお気軽にご参加を

仙台市PTA協議会 会長 高橋 由臣

各学校PTA会員の皆様、地域の皆様、日頃より子どもたちの健やかな成長のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

さて、今年度の研修は、奈良女子大学の伊藤美奈子先生から不登校支援に関するご講話をいただけることになりました。全国でご活躍され、大変お忙しい伊藤先生のお話を聞く機会は大変貴重です。オンライン研修は、新型コロナウイルス感染予防だけでなく、移動時間がかからないことや好きな場所で気軽にお話を聞けることが魅力です。また、人前で話すことが苦手な方でもチャット機能で質問することができることも利点の1つです。

伊藤先生のお話をうかがいながら、不登校の子どもに対して、どのように見守り、どのように声をかけていったらよいのか、皆様と一緒に考えたいと思っております。

お仕事等でお忙しい時間かと思いますが、それぞれの場所でお時間を作ってください、少しの時間でも研修にご参加ください。

多くの方に研修にご参加いただけるよう、周りの方にも参加のお声がけをお願いいたします。

